

関東学院大学×総合的な探究の時間



社会の課題を解決できる力を身につける

「関東学院大学×総合的な探究の時間:みなたん」が今年も始動しました。11月14日には関東学院大学の金沢八景キャンパスと関内キャンパスで、分野ごとに大学の先生方より専門分野に関する内容や探究の進め方に関する講義をしていただき、これから取り組む探究のお題が提示されました。生徒たちは5人程のグループを作り、お題に関連した自分たちの探究テーマを決め、これから探究をしていきます。8つのコースのうち栄養学部では、「現代の健康問題から栄養・食生活を考える」というお題が出され、生徒たちは先生の講義のあと早速話し合っ自分たちのテーマを決めていました。例えば、個人探究でサーカディアンリズムを研究している生徒がいるグループでは食生活と体内時計の関わりをテーマに据えたり、その他のグループでも絶滅危惧種を襲う外来種を食用にした場合の栄養価についてや、貧困の問題と食生活の関係についてテーマに据えたりするなど、沖縄の修学旅行で深めた個人探究テーマと関連させる様子も見えました。個別の課題探究で終わらず、前の経験を生かして積み上げる形の探究にできそうで、頼もしく感じました。

また、21日には今年も小山巖也学長にご来校いただき、社会で必要とされる力という観点から高校で探究に取り組む意義について講義していただきました。いつもながらの熱のこもった講演ありがとうございました。

